

2 研究の実際

(7) 授業実践(小学 4 年)

題材 「せんりつのとくちょうを感じ取ろう」

教材 「象」(作曲 サン＝サーンス 教育出版「おんがくのおくりもの 1」より)
「白鳥」(作曲 サン＝サーンス 教育芸術社「小学生の音楽 4」より)
「美しきロスマリン」(作曲 クライスラー 教育芸術社「小学校の音楽 4」より)

題材について

この題材は、音楽を形づくっている要素の中の「旋律」に着目し、旋律の特徴や曲想を感じ取りながら音楽を聴き、感じ取ったことを言葉で表したり身体表現をしたりするなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付くことをねらいとしています。学習指導要領の内容は「B鑑賞」(1)鑑賞の事項ア、イ、ウ、〔共通事項〕のうち旋律、音色、反復、変化などを扱いました。

題材の指導目標

旋律の特徴や曲想とその変化を感じ取り、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして楽曲の特徴や演奏のよさに気付き、音楽を特徴付けている要素と音楽の仕組みとの関わり合いによってつくられる楽曲の構造に気を付けて聴く。

題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
①「象」の楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。	①「白鳥」と「美しきロスマリン」の曲想とその変化や音楽を形づくっている要素の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉に表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴いている。 ②「白鳥」と「美しきロスマリン」の旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造に気を付けて聴いている。

本題材で位置付ける〔共通事項〕 (ア)音楽を特徴付けている要素、(イ)音楽の仕組み

〔共通事項〕		本題材における具体の姿
(ア)	旋律	・「象」：象の踊る姿を表す、弾んだ旋律 ・「白鳥」：白鳥の様子を表すなめらかな旋律と、水面の波の様子を表す伴奏の旋律 ・「美しきロスマリン」：「はじめ」と「おわり」の弾むような旋律と、「なか」のややならかな旋律
	音色	・「象」：象の踊る姿を表すコントラバスの太くて低い音色 ・「白鳥」：チェロの音色 ・「美しきロスマリン」：バイオリンの音色
(イ)	反復	・「はじめ」の旋律が「おわり」でも繰り返されていること
	変化	・「はじめ」と「なか」で旋律の特徴が変わること

題材の指導計画と評価計画(全 3 時間)

時	○ねらい・学習活動	◆評価規準	評価方法
第 1 時	○曲想とその変化を感じ取って聴く。		
	・「象」の「はじめ」を聴き、曲名を予想して発表する。 ・「はじめ」を聴き、思い浮かんだ様子やその根拠となる旋律の特徴について発表する。 ・「なか」を聴き、思い浮かんだ様子やその根拠となる旋律の特徴について発表する。 ・2種類の図形楽譜のうち、「はじめ」と「なか」の旋律の動きを表すものはどれか考える。 ・曲の「おわり」を聴き、気付いたことを発表する。 ・曲の紹介文を書く。	◆「象」の楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。【関一①】	行動の観察 発言の内容
第 2 時	○2曲の曲想とその変化や音楽を形づくっている要素の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉に表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴く。		
	・「白鳥」と「美しきロスマリン」の「はじめ」を聴き、どんな感じがするか、また思い浮かんだ様子などを発表する。 ・感じ取ったことの根拠となる旋律の特徴を聴き取って発表する。 ・3つの図形楽譜の中から、2曲の旋律を表した楽譜はどれか、グループで話し合う。 ・2曲のうち1曲を選び、その曲の気に入ったところやよさを紹介する文を書く。	◆「白鳥」と「美しきロスマリン」の曲想とその変化や音楽を形づくっている要素の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉に表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴いている。【鑑一①】	ワークシートの記述 発言の内容
第 3 時	○2曲の旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造に気を付けて聴く。		
	・2曲の続きを聴き、思い浮かんだ様子やその根拠となる旋律の特徴を聴き取って発表する。 ・楽曲の構造で気付いたことを発表する。 ・2曲の共通点と相違点を入れた紹介文を書く。 ・グループで、書いた文を紹介し合う。	◆「白鳥」と「美しきロスマリン」の旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造に気を付けて聴いている。【鑑一②】	ワークシートの記述 発言の内容

ア 1 時目（教材「象」）

指導目標

「象」の楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴くことができるようにする。

評価規準

「象」の楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。
(音楽への関心・意欲・態度)

聴覚と視覚を関わらせて音楽を知覚・感受する場面

「象」の「はじめ」と「なか」を聴き、思い浮かんだ様子と、そう思った根拠となる旋律の特徴を聴き取る活動を行った後、2種類の図形楽譜を配布し、「はじめ」の旋律と「なか」の旋律の動きを表したものはどちらかを考えさせるようにする。オルガンで「はじめ」と「なか」の旋律を弾いて聴かせたり、旋律の動きに合わせて身体表現をしたりし、2つの旋律の違いを図形楽譜と照らし合わせながら比べさせるようにする。

「おわり」の部分の聴き、「はじめ」や「なか」の旋律と比べてどうだったか児童に尋ね、「はじめ」の部分と似ていることに気付かせる。そして、曲全体の仕組みを児童に分かりやすく示すため、「はじめ」「なか」「おわり」の旋律の動きを表した図形楽譜を並べ、「はじめ」と「なか」は旋律が変化していることと、「はじめ」と「おわり」は旋律が反復しているところがあることに触れる。

交流活動を工夫した場面

「はじめ」と「なか」の旋律の動きに合う図形楽譜を選んだ後、ペアを作り、自分の考えをお互い伝え合わせる。伝え合わせる際は、なぜその図形楽譜を選んだのか、理由も述べるように児童に伝えておく。

授業の展開

過程	学習活動	教師の支援 ◆形成的評価とそれに基づく指導・支援	評価規準と評価方法・資料
導入	1 「象」の「はじめ」の部分の聴き、何という曲名か当てクイズをする。	○想像した動物を自由に発表させ、なぜその動物を思い浮かべたのか、その理由を尋ねた。 児童の反応 ★象 理由 ・低い音で、体の大きな動物を想像したから。 ・ゆっくりしたところが、象が歩いているような感じがしたから。	 資料1 黒板に提示した 〔共通事項カード〕
	2 本時のめあてを確認する。	○曲名当てクイズで出た児童の発言の中に、音楽を形づくっている要素に関する言葉が出たら、「せんりつ」「音色」などの〔共通事項〕カードを黒板に貼り、これらの要素が音楽を特徴づけていることに気付かせた。 ○音楽を聴く際は、感じたことや想像し	

導 入		たことと、その根拠となる音楽的な特徴を聴き取るようにすることを、カードを掲示しながら伝えた。 ○曲名が「象」であることを知らせ、象のどんな様子が思い浮かぶか、考えることを伝えた。	資料 2 音楽を聴く前に黒板に掲示したカード
展 開		曲のようすを思い浮かべよう。 3 「象」の「はじめ」の部分聴いて象のどんな様子が思い浮かぶか感じ取り、ワークシートに書いて発表し合う。 ○曲を聴いて、思い浮かんだ様子をワークシートに書かせた。 ○友達の発表を聞いて共感した時は、赤鉛筆でワークシートに付け足していくように伝えた。 児童の記述 ・象が楽しそうにおどっている。 ・象がゆっくり休んでいる。 ・象がのっそり歩いている。 4 なぜ象のそんな様子が思い浮かんだか、旋律の特徴から聴き取ってワークシートに書き、発表し合う。 ○なぜそのような様子が思い浮かんだのか、音楽のどんなところからそう感じたのかを考えながら再度音楽を聴くように伝えた。 ○曲を聴いて聴き取った旋律の特徴をワークシートに記入するように伝えた。 児童の記述 ・低い音色だから。 ・速さがゆっくりだから。 ・せんりつがはずんでいるから。 5 「象」の「なか」の部分聴いて、象のどんな様子が思い浮かぶか感じ取り、ワークシートに書き、発表し合う。 ○友達の発表を聞いて共感した時は、赤鉛筆でワークシートに付け足していくように伝えた。 ○旋律の動きを身体表現し、旋律の特徴をつかませた。 ○曲を聴いて、思い浮かんだ様子をワークシートに書かせた。 児童の記述 ・ゆっくり休んでいる。 ・象が水浴びをしている。 ・象が元気に踊っている。 ○友達の発表を聞いて共感した時は、赤鉛筆でワークシートに付け足していくように伝えた。 6 なぜ象のそ ○なぜそのような様子が思い浮かんだのか	資料 3 「はじめ」の部分聴いて感受した時の記述 資料 4 「はじめ」の部分から聴き取った旋律の特徴に関する記述 資料 5 「なか」の部分聴いて感受した時の記述(原文ママ)

展

開

んな様子がい
思 浮 かん
だ か、音
楽の特
徴から
聴き取
ってワ
ークシ
ートに
書き、
発表し
合う。

か、音楽のど
んなと
ころか
らそう
感じ
たの
かを
考
えな
が
ら再
度音
楽を
聴く
よ
うに
伝
えた。

○曲を聴いて聴き取った音楽の特徴をワークシートに記入するように伝えた。

児童の記述

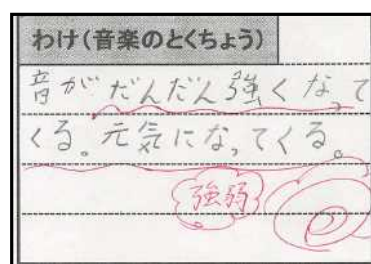
- ・音が少し**強**くなったから。
- ・**せんりつ**がなめらかに繋がっているから。
- ・**音色**が少し明るくなったから。

○児童から出た発言は、感受したこととその理由を分けて、板書した。

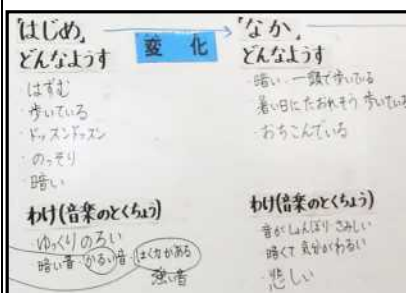
○友達の発表を聞いて共感した時は、赤鉛筆でワークシートに付け足していくように伝えた。

○旋律の動きを身体表現し、旋律の特徴をつかませた。

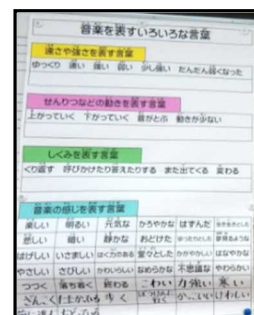
◆想像したことや聴き取ったことを記述することが難しい児童には、「音楽を表すいろいろな言葉」から自分の気持ちに近い言葉を探すように促したり、音色やリズムなど着目しやすい要素を例に挙げたりして、聴き取らせるようにした。



資料 6 「なか」の部分から聴き取った旋律の特徴に関する記述



資料 7 感じたことと理由を分けて書いた板書



資料 8 音楽を表すいろいろな言葉

・「象」の楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。

【関心・意欲・態度】

(ワークシートの記述、発言の内容)

おおむね満足(B)と判断する目安

「はじめ」と「なか」の部分
を聴いて、感じ取ったことを
旋律の特徴を聴き取って言葉
で表したり、身体表現したり
できている。

展

開

7 2種類の図形楽譜を提示し、「はじめ」と「なか」の旋律の動きを表したものはどれか考える。

- 2種類の図形楽譜を提示し、「はじめ」と「なか」の旋律の動きを表すものはどれか、考えさせた。
- なぜその図形楽譜を選んだのか、その理由を考えペアで考えを伝え合わせた。

児童の反応

- ・「はじめ」のせんりつは、音が短くて跳ねていたから①の楽譜を選んだ。
- ・「なか」のせんりつは、音が長くつながっていたから、②の楽譜を選んだ。

8 「象」の「おわり」の部分の聴き、気付いたことを発表する。

- 板書する際は「はじめ」「なか」「おわり」のそれぞれの部分の感じ取ったことと聴き取ったことを分けて書くようにした。
- 「おわり」の旋律は、「はじめ」や「なか」の旋律と比べてどうだったか児童に尋ね、「はじめ」の旋律が「おわり」でも繰り返されることに気付かせた。
- この曲がA-B-Aの三部形式であることを図形楽譜で視覚的に示し、「反復」「変化」という言葉に触れた。

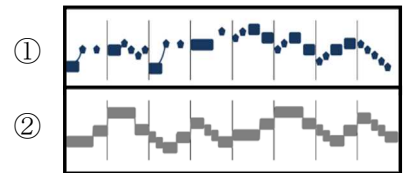
9 曲の紹介文を書く。

- 「せんりつ」という言葉を使って書くように伝えた。

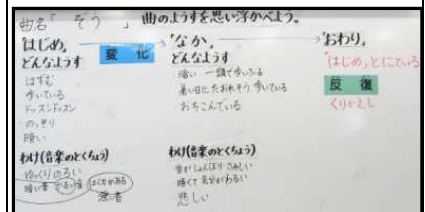
児童の記述

- ・この曲の「はじめ」の部分は、低くて弾んだせんりつなので、象が踊っている感じがします。「なか」の部分は、「はじめ」の部分とはちがひ、少しなめらかなせんりつになるのでゆっくり休んでいるような感じがします。

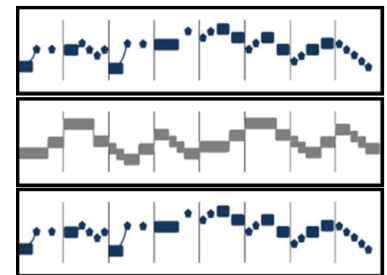
- ◆全く書いていない児童には、「音楽を表すいろいろな言葉」や「紹介文の書き方の例」を参考にするように促した。



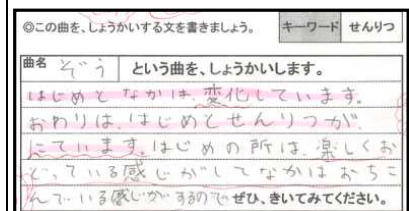
資料9 2種類の図形楽譜



資料10 曲の全体構成が分かるようにした板書



資料11 三部形式を視覚的に確認する図形楽譜



資料12 「象」の紹介文の記述

この曲は、()感じがします。

わけは、せんりつが()からです。

この曲をきくと、()のようすが思いうかびます。

それは、せんりつが()からです。

ぼく・わたしは、この曲が 好きです。

それは、()なせんりつで、()な感じがするからです。

資料13 紹介文を書き方の例

まとめ	10 次時の内容を知る。	○次時は、2つの曲の聴き比べをすることを伝える。	
-----	--------------	--------------------------	--

イ 2時目（教材「美しきロスマリン」「白鳥」）

指導目標

「白鳥」と「美しきロスマリン」の聴き比べを通して、音楽を形づくっている要素の関わり合いから想像したことや感じ取ったことを言葉に表したり身体表現をしたりして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付く。

評価規準

「白鳥」と「美しきロスマリン」の曲想とその変化や音楽を形づくっている要素の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉に表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴いている。
(鑑賞の能力)

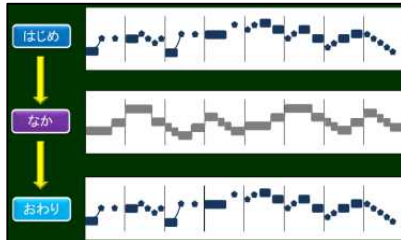
聴覚と知覚を関わらせて音楽を知覚・感受する場面

ア、イの曲の「はじめ」の部分を聴き、それぞれの旋律から思い浮かんだ様子と、そう思った根拠となる特徴を聴き取る活動を行った後、3種類の図形楽譜を配付し、ア、イの曲の旋律の動きを表したのはどれかを考えさせるようにする。その際、オルガンで2曲の旋律を弾いて聴かせたり、旋律の動きに合わせて身体表現をしたりし、2つの旋律の違いを図形楽譜と照らし合わせながら比べさせるようにする。

交流活動を工夫した場面

アとイの曲の旋律の動きに合う図形楽譜を選んだ後、4人グループを作り、自分の考えをお互い伝え合わせる。伝え合わせる際は、前時と同様に、なぜその図形楽譜を選んだのか理由を述べるように児童に伝える。また、残りの1つの図形楽譜については、なぜ、アの曲でもイの曲でもないと考えたのか、その理由もグループで伝え合わせる。

授業の展開

授業の展開			
過程	学習活動	教師の指導・支援 ◆形成的評価とそれに基づく指導・支援	評価規準と評価方法・資料
導入	1 前時の学習を振り返る。	○「象」の曲想が「はじめ」と「なか」で違うことと、「おわり」は「はじめ」の旋律が繰り返されていることに触れた。	 資料 14 「象」の曲の構造を視覚的に振り返った教材
	2 本時の学習内容を知る。	○前時のワークシートの記述をいくつか紹介し、「せんりつ」「反復」「変化」という言葉の確認をした。 ○前時は、1曲を3つの場面に分けて聴いたが、本時は2曲の聴き比べをすることを伝えた。	
	2つの曲のきき比べをして、曲のよさやおもしろさを感じ取ろう。		

ウ 教材「美しきロスマリン」「白鳥」(3/3 時間)

指導目標

2 曲の旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造に気を付けて聴く。

評価規準

「白鳥」と「美しきロスマリン」の旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造に気を付けて聴いている。
(鑑賞の能力)

聴覚と知覚を関わらせて音楽を知覚・感受する場面

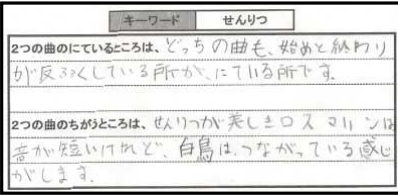
2 曲の楽曲全体の構造が分かるように、2 曲の「はじめ」「なか」「おわり」の部分の旋律の動きを表した図形楽譜を提示し、2 曲とも「はじめ」の旋律が「おわり」にも繰り返されているところがあることに触れるようにする。

交流活動を工夫した場面

2 曲を聴いて感じたこととそのわけをワークシートに記述させた後、隣同士ペアを作って自分の考えを伝え合わせる。

授業の展開

過程	学習活動	教師の指導・支援 ◆形成的評価とそれに基づく指導・支援	評価規準と評価方法・資料																												
導入	1 前時の学習を振り返る。	○「美しきロスマリン」と「白鳥」の「はじめ」を聴き、前時児童のワークシートの記述を紹介して、旋律の特徴の違いを想起した。																													
	2 本時の学習内容を知る。	○前時は、2曲の「はじめ」の部分の聴き比べをしたが、本時は2曲の「なか」「おわり」の部分の聴き比べすることを伝えた。																													
2曲を聴き比べ、にているところとちがうところを感じ取ろう。																															
展開	3 2曲の「なか」の部分の聴き、感じたことと、そのわけを旋律の特徴から聴き取り、発表する。	○2曲の「なか」の部分の聴かせて、どんな感じがするかと、そのように感じたわけをワークシートに書かせた。 ○ワークシートに記述したことをペアで伝え合わせた。 ○書いたことを全体で発表させる場合は、友達の発言に共感したことを赤鉛筆でワークシートに付け足していくようにした。	<table><tr><th colspan="2">「美しきロスマリン」</th><th colspan="2">「白鳥」</th></tr><tr><td>なか</td><td>どんな感じ</td><td>なか</td><td>どんな感じ</td></tr><tr><td colspan="2">楽しく歌っている感じがした。</td><td colspan="2">楽しくおどっている感じがした。</td></tr><tr><td colspan="2">た。楽しくおどっている。</td><td colspan="2">かいた。音楽が心地よかった。</td></tr><tr><td>なか</td><td>きき取ったこと</td><td>なか</td><td>きき取ったこと</td></tr><tr><td colspan="2">せんりつは、なかで、いい感じでした。</td><td colspan="2">速くはゆっくりとかなが、いい感じでした。</td></tr><tr><td colspan="2">ると思いました。</td><td colspan="2">いい感じでした。</td></tr></table>	「美しきロスマリン」		「白鳥」		なか	どんな感じ	なか	どんな感じ	楽しく歌っている感じがした。		楽しくおどっている感じがした。		た。楽しくおどっている。		かいた。音楽が心地よかった。		なか	きき取ったこと	なか	きき取ったこと	せんりつは、なかで、いい感じでした。		速くはゆっくりとかなが、いい感じでした。		ると思いました。		いい感じでした。	
	「美しきロスマリン」		「白鳥」																												
なか	どんな感じ	なか	どんな感じ																												
楽しく歌っている感じがした。		楽しくおどっている感じがした。																													
た。楽しくおどっている。		かいた。音楽が心地よかった。																													
なか	きき取ったこと	なか	きき取ったこと																												
せんりつは、なかで、いい感じでした。		速くはゆっくりとかなが、いい感じでした。																													
ると思いました。		いい感じでした。																													
閉			資料 22 2曲から知覚・感受したことに関する記述																												

展 開		えた。 ◆文を書けずにいる児童には、選んだ曲の旋律の特徴をワークシートで振り返らせ、記述していることを、「紹介文の書き方の例」を参考にして書くように声掛けをした。	
ま と め	6 児童が書いた紹介文を紹介する。	○2曲の共通点と相違点について触れている紹介文を取り上げた。	 資料 24 2曲の共通点と相違点について書いた紹介文